

| | | | |
|--|---|--|----------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160561001006 | 科目番号 / Subject code | 05610010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 情報処理入門(K(情2)) / Introduction to Computer Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 科目分類 / Class type | 情報処理科目, 情報処理科目, 教職免許科目・その他, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4, 5 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | ICT基盤センターセミナールーム | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yueshige@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | ICT基盤センター2階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2254 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月5 (事前にメールで教員と時間調整を行うこと) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | <p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は全学教育における情報処理科目である。</p> | | |
| 授業到達目標/Goal | <p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット (Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | <p>授業は、講義と演習を組み合わせる。</p> <p>講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。</p> <p>主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>授業は各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、毎回のノートパソコン持参を前提としている。</p> <p>再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p> | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>授業計画の表に各回の授業内容を示しているため、そちらを参照のこと。理解状況によって、進度の調整や順序の変更などを行うことがある。</p> <p>第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。</p> | | |
| キーワード/Key word | 情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年</p> <p>教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。</p> <p>課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p> | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | <p>Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。</p> <p>上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks(URL) | https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/ |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及び無線LAN接続 第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。 |
| 第2回 | 【PCとLACSの活用1】 Microsoft Office365他アプリケーションソフトウェアのセットアップ |
| 第3回 | 【PCとLACSの活用2】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習 |
| 第4回 | 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 （情報セキュリティ関連）情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 （情報倫理、法律関連）情報倫理、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回出席すること。 日時：4月14日（木）第1校時（医医、医保、歯、工（機械、電気、情報、社環）、環境） 4月25日（月）第1校時（教、経、水） 4月25日（月）第4校時（多文化、薬、工（構造、化学・物質）） 場所：中部講堂 |
| 第5回 | 【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照 |
| 第6回 | 【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成 |
| 第7回 | 【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用 |
| 第8回 | 【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作 |
| 第9回 | 【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化 |
| 第10回 | 【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成 |
| 第11回 | 【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入 |
| 第12回 | 【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等 |
| 第13回 | 【コンピュータとネットワークの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成（前半） |
| 第14回 | 【ネットワークの利用と情報の検索】 ネットワークの構成（後半）、WWW、情報の検索、著作権 |
| 第15回 | 【総合演習】 授業の振り返り |
| 第16回 | 【定期試験】 |

| | | | |
|--|---|--|----------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160561001022 | 科目番号 / Subject code | 05610010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 情報処理入門(D1・D2) / Introduction to Computer Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 一藤 裕 / Ichifuji Yu, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 一藤 裕 / Ichifuji Yu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 一藤 裕 / Ichifuji Yu | | |
| 科目分類 / Class type | 情報処理科目, 情報処理科目, 教職免許科目・その他, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4, 5 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育C棟45 / RoomC-45 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | ICT基盤センター2階 | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | <p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p> | | |
| 授業到達目標 / Goal | <p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | <p>授業は、講義と演習を組み合わせる。</p> <p>講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。</p> <p>主体的学修促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>授業は各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、毎回のノートパソコン持参を前提としている。</p> <p>再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p> | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | <p>授業計画の表に各回の授業内容を示しているため、そちらを参照のこと。理解状況によって、進度の調整や順序の変更などを行うことがある。</p> <p>第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。</p> | | |
| キーワード / Key word | 情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年</p> <p>教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | <p>課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。</p> <p>課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となる可能性があるので注意すること。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p> | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | <p>Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。</p> <p>上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks(URL) | https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/ |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及び無線LAN接続 第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。 |
| 第2回 | 【PCとLACSの活用1】 Microsoft Office365他アプリケーションソフトウェアのセットアップ |
| 第3回 | 【PCとLACSの活用2】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習 |
| 第4回 | 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 （情報セキュリティ関連）情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 （情報倫理、法律関連）情報倫理、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので必ず出席すること。 日時：4月14日（木）第1校時（医医、医保、歯、工(機械、電気、情報、社環)、環境） 場所：中部講堂 |
| 第5回 | 【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照 |
| 第6回 | 【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成 |
| 第7回 | 【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用 |
| 第8回 | 【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作 |
| 第9回 | 【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化 |
| 第10回 | 【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成 |
| 第11回 | 【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入 |
| 第12回 | 【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等 |
| 第13回 | 【コンピュータとネットワークの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成（前半） |
| 第14回 | 【ネットワークの利用と情報の検索】 ネットワークの構成（後半）、WWW、情報の検索、著作権 |
| 第15回 | 【総合演習】 授業の振り返り |
| 第16回 | 【定期試験】 |

| | | | |
|--|---|--|----------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160561001028 | 科目番号 / Subject code | 05610010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 情報処理入門(P2) / Introduction to Computer Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi | | |
| 科目分類 / Class type | 情報処理科目, 情報処理科目, 教職免許科目・その他, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4, 5 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | ICT基盤センターセミナールーム | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yueshige@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | ICT基盤センター2階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2254 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月5 (事前にメールで教員と時間調整を行うこと) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | <p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は全学教育における情報処理科目である。</p> | | |
| 授業到達目標/Goal | <p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | <p>授業は、講義と演習を組み合わせる。</p> <p>講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。</p> <p>主体的学修促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>授業は各自が所有するノートパソコンを用いて実施するので、毎回のノートパソコン持参を前提としている。</p> <p>再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p> | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>授業計画の表に各回の授業内容を示しているため、そちらを参照のこと。理解状況によって、進度の調整や順序の変更などを行うことがある。</p> <p>第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。</p> | | |
| キーワード/Key word | 情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書: 「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年</p> <p>教材: 必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。</p> <p>課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p> | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | <p>Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。</p> <p>上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考（URL）/Remarks(URL) | https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/ |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、必携パソコンの初期設定及び無線LAN接続 第1回授業より各自ノートパソコンを持参すること。 |
| 第2回 | 【PCとLACSの活用1】 Microsoft Office365他アプリケーションソフトウェアのセットアップ |
| 第3回 | 【PCとLACSの活用2】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習 |
| 第4回 | 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 （情報セキュリティ関連）情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 （情報倫理、法律関連）情報倫理、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回出席すること。 日時：4月14日（木）第1校時（医医、医保、歯、工（機械、電気、情報、社環）、環境） 4月25日（月）第1校時（教、経、水） 4月25日（月）第4校時（多文化、薬、工（構造、化学・物質）） 場所：中部講堂 |
| 第5回 | 【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等 |
| 第6回 | 【文書作成】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、ページ設定、オブジェクトの操作、表の作成、印刷方法等 |
| 第7回 | 【表計算(1/5)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照 |
| 第8回 | 【表計算(2/5)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成 |
| 第9回 | 【表計算(3/5)】 さまざまな関数の活用 |
| 第10回 | 【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化 |
| 第11回 | 【表計算(4/5)】 複数シートの操作、データベースの操作 |
| 第12回 | 【表計算(5/5)】 高度なグラフの作成、ピボットテーブルの作成 |
| 第13回 | 【コンピュータとネットワークの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成（前半） |
| 第14回 | 【ネットワークの利用と情報の検索】 ネットワークの構成（後半）、WWW、情報の検索、著作権 |
| 第15回 | 【総合演習】 授業の振り返り |
| 第16回 | 【定期試験】 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/01/24 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587016101 | 科目番号 / Subject code | 05870161 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12971_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 人間活動と環境影響 (環境と生物応答) / Natural Environment and Bioresponse | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 岡田 二郎 / Okada Jiro, 山下 樹三裕 / Yamashita Kimihiro | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 田井村 明博 / Akihiro Taimura | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 岡田 二郎 / Okada Jiro, 山下 樹三裕 / Yamashita Kimihiro | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟24 / RoomA-24 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 医学部、歯学部、工学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | 田井村明博 (taimura@nagasaki-u.ac.jp)、山下樹三裕 (kimihiro@nagasaki-u.ac.jp)、岡田二郎 (jokada@nagasaki-u.ac.jp) | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 環境科学部 2F (228) | | |
| 担当教員TEL / Tel | 2761 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月、水、木 12:05-12:40 (その他の時間帯でも在室時はいつでも可) | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 生物が自然環境の変化に対して内部環境を維持する仕組みについて学ぶ。生体が外部環境から受ける刺激に対する生体内環境の応答について、感覚系による環境センサーとしての機能や天然物質・化学物質による有害作用や毒性発現の作用機序、さらに、暑熱・寒冷環境における環境適応反応について学び、自然環境と生物との共生について理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 生物応答のしくみを学び、自然環境との共生について理解し、人に説明することが出来る。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 予習・復習を前提にしたアクティブラーニング方式、または、講義前後に小テストまたは班別討議等を行う。 講義のレベルおよび内容は、学部混合型であることを前提に、できるだけ平易な表現を使って、理解しやすい内容を提供する予定です。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 生物が外部環境や化学物質から受ける影響および内部環境を維持する仕組みについて学ぶ。 | | |
| キーワード / Key word | ホメオスタシス (恒常性), 外界刺激応答, 環境ホルモン | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 予習・復習時に各自で調べる。必要があれば配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 予習・復習も含めて授業への積極的な参加(25%), レポート・小テスト(25%), 期末試験(50%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | LACSが使える(予習課題の確認, レポート提出など)ことを前提として授業を進めます。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 適宜指示します。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 (10/4) | オリエンテーション 概要と進め方; 毒性物質と生体反応 (山下) | | |
| 第2回 (10/11) | 身近な動物毒 (山下) | | |
| 第3回 (10/18) | 身近な植物毒 (山下) | | |
| 第4回 (10/25) | 環境汚染物質による生体影響 1: 公害病 (山下) | | |
| 第5回 (11/1) | 環境汚染物質による生体影響 2: 環境ホルモン (山下) | | |
| 第6回 (11/8) | 環境センサーとしての感覚系 (岡田) | | |
| 第7回 (11/15) | 光の受容と行動 (岡田) | | |
| 第8回 (11/29) | 音の受容と行動 (岡田) | | |
| 第9回 (12/6) | 匂いの受容と行動 (岡田) | | |

| | |
|--------------|--------------|
| 第10回 (12/13) | 触感の受容と行動(岡田) |
| 第11回 (12/20) | エネルギー代謝(田井村) |
| 第12回 (12/27) | 体温調節1(田井村) |
| 第13回(1/10) | 体温調節2(田井村) |
| 第14回 (1/17) | 暑熱寒冷適応1(田井村) |
| 第15回 (1/24) | 暑熱寒冷適応2(田井村) |
| 第16回 (1/31) | 定期試験 |

| | | | |
|---|--|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3, 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2016/12/01 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587023301 | 科目番号 / Subject code | 05870233 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 13951_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 環境マネジメント (廃棄物のマネージメント) / Management of Solid Waste | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 山下 敬彦 / Yamashita Takahiko | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | juniper@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 産学官連携戦略本部 2F | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2227 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | メールで問い合わせ | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物のマネー ジメントに関する知識と理解を深める. | | |
| 授業到達目標 / Goal | 学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物のマネージメントについて考察する力 を身につける. | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 学内における「ごみ」の実態調査, 分析から現状の問題点を抽出し, 解決方法を提案する. | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 授業計画にあるとおり, 座学は最初の3コマのみで, 以降は, 居住地のごみの分別方法, 日本の廃棄 物処理に関する統計データ, さらに大学内のごみ分別状況を調査・分析する. そこから, それぞ れが抱える課題を抽出し, その解決のための手法を議論する. | | |
| キーワード / Key word | 廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない. 資料は適宜提示する. | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする. | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます. 授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい. アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと. 実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義にも及ぶことを念頭に いれておいてください. | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | ごみの話, 関連する法制度についての概要説明 | | |
| 第2回 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明 | | |
| 第3回 | 課題解決の方法 | | |
| 第4回 | 課題解決の方法 | | |
| 第5回 | 居住地域のごみ分別方法について調査する | | |
| 第6回 | 居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析し, 「ごみを分別すること」について考察する | | |
| 第7回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する | | |
| 第8回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する | | |
| 第9回 | 日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する | | |
| 第10回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う | | |
| 第11回 | 長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する | | |

| | |
|------|--|
| 第12回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う |
| 第13回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する |
| 第14回 | 長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する |
| 第15回 | 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する。 |
| 第16回 | 【総括】 一連の過程を振り返り、改善点等について議論する。 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/01/24 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587037702 | 科目番号 / Subject code | 05870377 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12341_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 及川 大地 / Oikawa Daichi, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 及川 大地 / Oikawa Daichi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 及川 大地 / Oikawa Daichi, 宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟31 / RoomA-31 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | LACSメールを使用 | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 教育学部 食物学研究室 教育学部 保育学研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 2375 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 適宜事前にアポイントを取ること | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 私たちの「食生活」および「保育」の事項を社会的問題点も踏まえて科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 自ら「食生活」および「保育」に関する事項を科学的視点で捉える意識を身に付け、社会的問題点を解決するための考え方とスキルを身につける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 本講義は一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。基本的には複数回の講義の後、身の回り(食生活・保育)に関する科学的テーマについて各班で背景、事象、問題点を抽出しながら、課題解決を試み、Power Point にまとめ発表してもらいます。講義では質疑応答を多く用います。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 全16回開講のうち、前半「食生活関連」で3回の講義の後、2回の参加学習、2回の発表、1回試験を実施します。後半は、「保育関連」で3回の講義の後、2回の参加学習、2回発表、1回試験を行います。 ただし、受講人数によって発表日数を減らし、講義内容に変更する場合があります。 | | |
| キーワード / Key word | 日常生活の食(食品・栄養・食品衛生)、食環境、保育、子ども、育児、家族、健康 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 資料は、LACSに掲載したものを各自必ず印刷してきてください。LACS内の資料は紙媒体で配布しません。 追加資料は適宜配布します。 <参考書>(興味のある学生のみ下記を購入してみてください。) 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品学総論」 辻英明・海老原清 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「基礎栄養学」 木戸康博・中坊幸弘 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品衛生学」 増田邦義・植木幸英 編 日本小児医事出版社 「保育保健の基礎知識」 巷野悟朗 監修 日本保育園保健協議会 編 八千代出版社 「現代保育と子育て支援 保育学入門」 亀谷和史 編著 | | |

| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>成績評価方法 試験：40点 発表：40点 発表中の質問は1点ずつ加点する。 発表会の欠席は一日あたりマイナス5点とする。ただし、やむを得ない事情による欠席はこの対象としない。 参加・体験学習・質疑応答の取り組み：20点 <要注意> 16回開講で6回以上欠席した者は失格とする。</p> <p>成績評価基準 「試験」「発表」および「参加・体験学習・質疑応答の取り組み」で評価し、合計が60点以上を合格とします。</p> |
|--------------------------------|--|
| 受講要件（履修条件）/Requirements | <p>本内容に興味のある学生。 身の回りに潜む科学的事象および社会的問題を少しでも解明したい学生。 自ら考え、疑問を持ち、まとめ、発表する努力を行う学生。</p> |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> |
| 備考（URL）/Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | <p>身の回りの食および保育に関して、日ごろから興味を持ち、科学的に考える意識を持ってください。</p> |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | ガイダンス 身の回りの科学（食生活の科学）（及川大地） |
| 第2回 | エネルギーになる栄養素・塩分の摂取（及川大地） |
| 第3回 | 食品の保存法（及川大地） |
| 第4回 | 前半 参加学習（及川大地） |
| 第5回 | 前半 参加学習（及川大地） |
| 第6回 | 前半発表1日目（及川大地） |
| 第7回 | 前半発表2日目（及川大地） |
| 第8回 | 前半試験（及川大地） |
| 第9回 | 保育と子どもと社会（宮津寿美香） |
| 第10回 | 子どもが育つ場（宮津寿美香） |
| 第11回 | 子どもが育つ過程と育ちに関わる問題（宮津寿美香） |
| 第12回 | 後半 参加学習（宮津寿美香） |
| 第13回 | 後半 参加学習（宮津寿美香） |
| 第14回 | 後半発表1日目（宮津寿美香） |
| 第15回 | 後半発表2日目（宮津寿美香） |
| 第16回 | 定期試験（後半試験）（宮津寿美香） |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/25 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587039301 | 科目番号 / Subject code | 05870393 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12521_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 自然と暮らし (人間と社会) / Human and Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 永田 聖二 / Nagata Seiji | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 永田 聖二 / Nagata Seiji | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 永田 聖二 / Nagata Seiji | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育G棟38 / RoomG-38 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 医学部・歯学部・工学部・環境科学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | seiji@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 教育学部 本館 6階 612研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 819-2310 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜 限 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に説明する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う) | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 微分法を利用した最適化問題の手法や、線形代数の手法を利用して、資本主義経済の機構を数理的に説明する。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | わたしたちが生活している資本主義経済の機構を理論的に考察する。 | | |
| キーワード/Key word | スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫) チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 期末試験100% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 経済学の課題と対象 | | |
| 第2回 | 流通過程と重商主義思想 | | |
| 第3回 | アダム・スミスと国富 | | |
| 第4回 | アダム・スミスと生産過程 | | |
| 第5回 | リカードウと労働価値説 | | |
| 第6回 | リカードウと賃金論 | | |
| 第7回 | リカードウと地代論 | | |
| 第8回 | 経済数学の基礎1: 微分法 | | |
| 第9回 | 経済数学の基礎2: 最適化問題 | | |
| 第10回 | 経済数学の基礎3: 偏微分と全微分 | | |
| 第11回 | ミクロ経済学: 消費者行動の理論 | | |
| 第12回 | マクロ経済学: 所得水準の決定と乗数効果 | | |

| | |
|------|--------------------|
| 第13回 | 経済数学の基礎4：ベクトルと行列 |
| 第14回 | 経済数学の基礎5：連立方程式と逆行列 |
| 第15回 | 産業連関分析 |
| 第16回 | 期末試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587045101 | 科目番号 / Subject code | 05870451 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 13751_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 核兵器廃絶へのアプローチ (メディアと平和) / Journalism and the Path to Peace | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 普久原 均 / Fukuhara Hitoshi, 山口 響 / Yamaguchi Hibiki, 小倉利丸 / Saeki Toshimaru, 広瀬 訓 / Hirose Satoshi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 森川 裕二 / Morikawa Yuji | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 普久原 均 / Fukuhara Hitoshi, 山口 響 / Yamaguchi Hibiki, 小倉利丸 / Saeki Toshimaru | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟12 / RoomA-12 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 多文化、教育、経済、薬学、水産 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | morikay@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 多文化社会学部1号館 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2904 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 金曜日9:00 ~ 12:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | ジャーナリズムは、第二次大戦後の「世界の平和」についてどのような視点から報道してきたのか。国際政治の中での日本の立ち位置をジャーナリズムを通じて学びます。とくに冷戦後の世界と、3.11後に政治・経済各面の矛盾を浮き彫りにした核開発と原子力平和利用を分離してきたメディアの対応を批判的に議論し、「核なき世界」と平和実現の課題について考える。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 平和な世界を実現するために、ジャーナリズムに何を期待すべきか。戦争と平和そして核についての報道を批判的に論じるための視点を身に着ける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 講義と討論。講義は国際秩序と平和についての歴史的な流れを主要メディア報道に関連づけて理解するための総論のほか、各論では講義陣に「オルタナティブなメディア」(主要メディアとは異なるメディア:小倉利丸、山口響)、「ローカルメディア」(地方紙:普久原均・琉球新報社論説委員、荻川裕之・長崎新聞社記者)の現役ジャーナリスト4人が参加し、生きた「平和ジャーナリズム」論について学ぶ。講義をもとにグループ討論の時間を2回用意する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 冷戦後の世界、国際秩序、核政治、ジャーナリズム | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 参考図書:『日米核同盟』太田昌克(岩波書店)。藤原帰一『平和のリアリズム』岩波書店。『普天間移設 日米の深層』琉球新報「日米廻り舞台」取材班(青灯社)、『琉球新報が伝える 沖縄の「論理」と「肝心」』琉球新報社論説委員会(高文研)。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポート40% 試験50% 授業・討論の取組み姿勢10% | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 週平均2時間、授業外学習(関連図書・資料のチェックなど)にあてること。日々の新聞・TVの国際関係記事をチェックする習慣をつけること | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 事実関係の細部を把握すること以上に、事実関係の背後にある構造と考え方を探求することが大事です。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | メディアは平和をつくれるか(総論、森川) | | |
| 第2回 | 権力とメディア(小倉) | | |
| 第3回 | 戦後国際秩序と日米同盟(森川) | | |
| 第4回 | 冷戦と平和(森川) | | |
| 第5回 | 新しい戦争とメディア(9.11後のジャーナリズム、森川) | | |
| 第6回 | 原子力平和利用と日本の核政治(森川) | | |
| 第7回 | 長崎のメディアは原子力「平和」利用をどう報じたか(山口) | | |

| | |
|------|---------------------------------|
| 第8回 | 3・11後のオルタナティブ・メディア 原発政治をめぐる（山口） |
| 第9回 | 反核・反戦運動の中のメディア （山口） |
| 第10回 | 反核・反戦運動の中のメディア （グループ討論、山口） |
| 第11回 | 沖縄基地問題と日米同盟（琉球新報社記者・普久原） |
| 第12回 | 地方メディアと平和報道 （長崎新聞社記者・蓑川） |
| 第13回 | 地方メディアと平和報道 （長崎新聞社記者・蓑川） |
| 第14回 | 核政治と国際報道 （森川） |
| 第15回 | 核政治と国際報道 （グループ討論、まとめ、森川） |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587046501 | 科目番号 / Subject code | 05870465 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 14341_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 南 誠 / Minami Makoto, 鈴木 英明 / Hideaki Suzuki | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 南 誠 / Minami Makoto | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 南 誠 / Minami Makoto | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育C棟16 / RoomC-16 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 教育・経済・薬学・水産学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 総合教育研究棟3F | | |
| 担当教員TEL / Tel | 819-2926 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 事前にメール(lsk-minami@nagasaki-u.ac.jp)連絡 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 本授業ではまず人の移動に関する理論的な視点と国際移民の現状を概観した上で、アジアと日本に焦点を定めて、日本人海外移民の歴史、その移動によってもたらした影響や、日本に住む外国籍住民の歴史と現状、および、日本型多文化共生社会構築の試みについて講義する。講義の中では、日本以外の国との比較検討や、グループワークでの議論も視野に入れて進める予定である。 | | |
| キーワード / Key word | 移民・難民 エスニシティ 社会的包摂と排除 文化交流 多文化共生 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 定期試験(70%)、授業および討論への参加度(30%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 「人の移動」の概説 | | |
| 第2回 | 日本人移民の略史 | | |
| 第3回 | 日本をめぐる人の移動(戦前編) | | |
| 第4回 | 日本をめぐる人の移動(戦後編) | | |
| 第5回 | 日本人移動の影響 文化編(東アジアの場合) | | |
| 第6回 | 日本人移動の影響 歴史・記憶編(東アジアの場合) | | |
| 第7回 | 日本人移動(本国帰還)の影響(日本の場合) | | |

| | |
|------|---------------------|
| 第8回 | 日本を生きる外国住民（在日コリアン） |
| 第9回 | 日本を生きる外国住民（中国系） |
| 第10回 | 日本を生きる外国住民（日系？） |
| 第11回 | 日本を生きる外国住民（難民と無国籍者） |
| 第12回 | 日本を生きる外国住民（その他） |
| 第13回 | 日本型多文化共生社会の試み |
| 第14回 | 地域社会と移民コミュニティ |
| 第15回 | 総括 |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587046502 | 科目番号 / Subject code | 05870465 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 14341_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 賽漢卓娜 / Saihanjuna, 野上 建紀 / Takenori Nogami | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 賽漢卓娜 / Saihanjuna | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 賽漢卓娜 / Saihanjuna | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育G棟38 / RoomG-38 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 2年, 3年, 4年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 多文化社会学部1号館 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2918 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 水曜日 2校時 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 「グローバル化」の進展に伴い、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドを背負った人々は地球規模で移動している。本授業では、「多文化化」を加速させた日本社会に焦点を当て、日本をめぐる「ヒト」の移動 (= 移住現象) への理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 履修者は、「より広い視野」を持つ社会の一員として、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった在日外国人を取り巻く困難な状況やその理由・背景を学び、かれらと「共に生きる (多文化共生)」可能性を見つける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 本授業は基本的に講義形式で行われますが、視聴覚機材も利用します。またグループディスカッションもあります。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | <ol style="list-style-type: none"> 1 【イントロダクション】 2 グローバル化と「移民の時代」 3 アジア域内の移民の展開、日本の法制度 4 多文化共生をはばむ壁 5 移動研究へのアプローチ 6 移動と国家 7 日系ブラジル人を考える 8 移動と教育 9 外国につながる人々と学校を考える 10 移動とジェンダー <特別講師: 李 節子> 11 フィリピン人社会を考える 12 移動と家族 13 生活者としての結婚移住女性 14 アクティブラーニング 15 まとめ 16 試験 | | |
| キーワード / Key word | 移動 エスニシティ ジェンダー | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 本授業では、教科書を指定せず、プリントを用意します。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業内課題 (15%) レポート (25%) 定期試験 (60%)。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 授業外学習は週平均2時間以上実施して下さい。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 各講義において事前に読んで欲しい資料は授業中で指示します。また、日常生活のどのような場面で外国人によく出会うのか、といった身近な出来事にも常に注意を払っておくこと。新聞などに目を通し、特に在日外国人たちがおかれている困難な状況にもセンシティブになっておくと良いでしょう。 | | |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587047901 | 科目番号 / Subject code | 05870479 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12331_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育と文化 (日本語と社会) / Japanese and Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 前田 桂子 / Keiko Maeda | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟13 / RoomA-13 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | kmaeda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 教育学部棟624研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 2301 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 現代日本語の音韻、文法、語彙、方言などに関する知識を修得し、身近な日本語を探究する態度を育てる。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探究し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 講義 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 日本語 ことば 変化 歴史 地域 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業中に課すレポートおよび期末試験 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 身近な日本語の由来を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 世界の中の日本語 | | |
| 第2回 | 文字について 漢字 | | |
| 第3回 | 文字について 仮名 | | |
| 第4回 | 語彙について 和語、漢語、外来語 | | |
| 第5回 | 語彙について 類義語、複合語 | | |
| 第6回 | 標準語、俗語、若者語 | | |
| 第7回 | らしさの表現 | | |
| 第8回 | 待遇表現の意義 | | |
| 第9回 | 変化する文法 | | |
| 第10回 | 変化する文法 | | |
| 第11回 | 国語史 音韻の歴史 | | |
| 第12回 | 国語史 文体の歴史 | | |
| 第13回 | 方言 | | |

| | |
|------|---------|
| 第14回 | 方言 |
| 第15回 | 単語の意味変化 |
| 第16回 | 総括 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/02/03 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587048101 | 科目番号 / Subject code | 05870481 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健やかに生きる (たばこについて考える) / Think About Smoking, Tobacco and Health | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 前村 浩二 / Maemura Kouji, 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 大園 恵幸 / Oozono Yoshiyuki | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中道 聖子 / Nakamichi Seiko | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 中道 聖子 / Nakamichi Seiko, 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 大園 恵幸 / Oozono Yoshiyuki | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育C棟16 / RoomC-16 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 多文化社会、教育、経済、薬学、水産 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | seiko-n@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 長崎大学医歯薬学総合研究科 医学部医学科 臨床医学 総合診療学 長崎大学病院 総合診療科 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7591/7371 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 11:30-12:30 月~金 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | | | |
| 授業到達目標 / Goal | たばこが人間にもたらす精神的、肉体的影響について説明できる。 長崎県がたばこ対策をどのように行っているかを説明できる。 健やかな社会とために、たばことどのように向き合っていくべきか、各々の考えを発表できる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 短時間の講義 (座学) とグループ学習、グループ内討論、グループ毎の発表。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | たばこ、禁煙、ニコチン依存、健康、がん | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は用いず、適宜ハンドアウトを配布します。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | ディスカッションや発表における積極的な姿勢 (50%)、グループ発表の内容 (30%)、レポート (20%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | たばこを吸う人、吸わない人。いずれにとってもたばこがどのようなものなのかを知ることは、これからの自分や家族にとって有意義なことです。この機会にたばこについて共に考えてみましょう。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 1 9月30日 | イントロダクション: テーマと今後の予定の説明 教官、学生自己紹介、グループ分け たばこについての知識・意識調査 (小テスト・アンケート様式) (担当: 中道聖子) | | |
| 2 10月7日 | たばこについて (担当: 大園恵幸教授) | | |
| 3 10月14日 | たばこについて (担当: 大園恵幸教授) | | |
| 4 10月21日 | たばこについて (担当: 大園恵幸教授) | | |
| 5 10月28日 | たばこについて (担当: 大園恵幸教授) | | |
| 6 11月4日 | たばこについて (担当: 大園恵幸教授) | | |
| 7 11月11日 | タバコから、嗜癖まで ~ SNS依存とは ~ (担当: 黒滝直弘先生) | | |
| 8 11月25日 | 禁煙運動について (担当: 門田耕一郎) | | |
| 9 12月2日 | 禁煙教育について (担当: 門田耕一郎) | | |

| | | |
|----|--------|--------------------------|
| 10 | 12月9日 | たばこと心理 (客員研究員：長浦由紀) |
| 11 | 12月16日 | たばこと心理 (客員研究員：長浦由紀) |
| 12 | 1月6日 | 長崎とたばこ (担当：中道聖子) |
| 13 | 1月20日 | 長崎とたばこ (担当：中道聖子) |
| 14 | 1月27日 | 長崎とたばこ (担当：中道聖子) |
| 15 | 2月3日 | 長崎とたばこ：グループ毎発表 (担当：中道聖子) |
| 16 | 2月10日 | 予備日 |

| | | | |
|---|--|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 3, 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/12/02 ~ 2017/02/15 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587049501 | 科目番号 / Subject code | 05870495 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 環境と社会の共生 (廃棄物の管理と処理) / Management of Waste | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 梅津 千恵子 / Umetsu Chieko | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | juniper@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 産学官連携戦略本部 2F | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2227 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | メールで問い合わせ | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 廃棄物の処理に関する法律等を理解するとともに, 実際に廃棄物の分別を体験し, 廃棄物のマネージメントに関する知識と理解を深める. | | |
| 授業到達目標/Goal | 学内の「ごみ」の実態調査・分析から, 社会に必要な廃棄物のマネージメントについて考察する力を身につけることができる. | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 学内における「ごみ」の実態調査, 分析から現状の問題点を抽出し, 解決方法を提案する. | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 授業計画にあるとおり, 座学は最初の3コマのみで, 以降は, 居住地のごみの分別方法, 日本の廃棄物処理に関する統計データ, さらに大学内のごみ分別状況を調査・分析する. そこから, それぞれが抱える課題を抽出し, その解決のための手法を議論する. | | |
| キーワード/Key word | 廃棄物 ごみの分別 ごみ処理の方法 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない. 資料は適宜提示する. | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 毎回の授業への積極的な参加30%, レポート70%で評価し, 60%以上を合格とする. | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます. 授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい. アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 自分が住んでいる自治体で定められているごみの分別方法を正しく理解しておくこと. 実態調査, データ分析, 課題抽出が主体となるので, 欠席の影響は, 次の講義にも及ぶことを念頭に入れておいてください. | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | ごみの話, 関連する法制度についての概要説明 | | |
| 第2回 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) の概要説明 | | |
| 第3回 | 課題解決の方法 | | |
| 第4回 | 課題解決の方法 | | |
| 第5回 | 居住地域のごみ分別方法について調査する | | |
| 第6回 | 居住地域のごみ分別方法の調査結果を分析し, 「ごみを分別すること」について考察する | | |
| 第7回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を把握する | | |
| 第8回 | 環境省「日本の廃棄物処理」から日本の廃棄物処理の現状を分析する | | |
| 第9回 | 日本の廃棄物処理の現状評価から問題点を抽出する | | |
| 第10回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う | | |
| 第11回 | 長崎大学における廃棄物の分別・処理方法について理解する | | |

| | |
|------|--|
| 第12回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査を行う |
| 第13回 | 長崎大学における「ごみ」の実態調査結果の分析を行い、現状を評価する |
| 第14回 | 長崎大学における「ごみ」の現状評価から問題点を抽出する |
| 第15回 | 「ごみ」に関して長崎大学がかかえる問題点を解決するための方策を検討し、提案する。 |
| 第16回 | 【総括】 一連の過程を振り返り、改善点等について議論する。 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 他 / Oth. 0 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587053901 | 科目番号 / Subject code | 05870539 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 変わり行く社会を生きる3 (障がいと社会) / Inclusive Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 橋本 優花里, 劉 卿美 / Yuu Kiyonmi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 川越 明日香 / Kawagoe Asuka | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 川越 明日香 / Kawagoe Asuka, 橋本 優花里 | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟12 / RoomA-12 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 医学部、歯学部、工学部、環境科学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | kawagoe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 教育学部254-1号室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2773 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前にメールでアポイントを取ってから来室してください。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 心理学の立場から脳の器質的な損傷によるコミュニケーションの障がいを理解し、共生社会について考える | | |
| 授業到達目標/Goal | ことばの発達について理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 脳とことばの関係を理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 脳の機能不全によることばに関連した障害様相について理解できる。(自主的探求、批判的思考、相互啓発志向) 障害と健常の垣根を越えて、授業で学んだことを、よりよいコミュニケーションを目指した実生活に生かすことができる。(社会貢献意欲、多様性の意義) | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 集中講義形式で行います。講義と、講義に関連した実験、グループワークとプレゼンテーション、そしてグループディベート等を随時取り入れていきます。そのため、それぞれの作業に必要な内容を事前に準備することが必須となります。事前の準備の内容については提出を求め、成績評価の対象とします。また、障害様相を把握するため、視覚教材の視聴も行いません。各授業終了時には、質問や感想を書くためのコミュニケーションカードの記入を求めます。コミュニケーションカードは、次回の授業での振り返りや皆さんの授業の理解度の確認に利用します。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 1. 良い聞き手になるための方法を学ぶ、子どもの発達 2. ことばの発達に関するプレゼンテーションの準備 3. ことばの発達に関するプレゼンテーション 4. プレゼンテーションフィードバック、ことばの発達に関するまとめ (DVD視聴) 5. ことばの発達に関する振り返り 6. 脳に関するプレゼンテーションの準備 7. 脳に関するプレゼンテーション 8. プレゼンテーションフィードバック、脳の進化と発達、脳の特性と構造のまとめ 9. 脳の進化と発達、脳の特性と構造の振り返り 10. 脳の損傷がもたらす障害についてのプレゼンテーションの準備 11. 脳の障害がもたらす障害についてのプレゼンテーション 12. プレゼンテーションフィードバック、脳の損傷がもたらす障害についてのまとめ 13. 脳の損傷がもたらす障害についての振り返り、脳とことばに関する様々なテーマに関するディベートの準備 14. ディベートしよう 15. 脳とことばのまとめ 16. 試験 | | |
| キーワード/Key word | 障がい、ことば、脳損傷、認知 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は指定しません。講義内容に即した資料を事前に配布します。授業で紹介する障害の様相をより詳しく理解するため、視聴覚教材を利用します。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 予習による準備物を含む授業時のグループワークやグループディスカッションの成果物 (30%)、予習復習を含むクイズ (15%)、コミュニケーションカードの提出を含む、授業への積極的な参加・貢献度 (15%)、および定期試験 (40%)、から総合的に判断して成績評価を行います。授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格 | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | | | |

| 学生へのメッセージ/Message for students | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | アクティブラーニングとは 良い聴き手になる方法 |
| 第2回 | 【ことばの発達】 グループワーク |
| 第3回 | 【ことばの発達】 プレゼンテーション フィードバック |
| 第4回 | 【ことばの発達】 振り返り |
| 第5回 | 【脳の構造と機能】 グループワーク |
| 第6回 | 【脳の構造】 プレゼンテーション フィードバック |
| 第7回 | 【脳の構造】 振り返り |
| 第8回 | 【共生社会とは：シナリオを読んで考える】 PBL |
| 第9回 | 【様々な障害】 グループワーク |
| 第10回 | 【様々な障害】 個人でプレゼンテーション |
| 第11回 | 【様々な障害】 振り返り |
| 第12回 | 学修成果の共有 プレゼンテーション準備 |
| 第13回 | 学修成果のプレゼンテーション |
| 第14回 | ディベート準備 |
| 第15回 | ディベート |
| 第16回 | 試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 水 / Wed 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/20 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160588010001 | 科目番号 / Subject code | 05880100 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEOC 11411_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 富塚 明 / Tomiduka Akira | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 富塚 明 / Tomiduka Akira | | |
| 科目分類 / Class type | 自由選択科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | takahasi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 090-1343-1361 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 事前にメール、電話等でアポイントをとってください。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | <p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を進展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p> | | |
| 授業到達目標 / Goal | <p>長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を進展させる学習意欲を身に付けることです。</p> | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | <p>基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。</p> | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | <p>長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、地域の特性などについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。</p> | | |
| キーワード / Key word | <p>長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 産業 世界遺産 外交 原爆被害 軍事基地</p> | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | <p>毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。</p> | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | <p>原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。</p> | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | <p>平成28年度から開講される必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。</p> | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | <p>長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。</p> | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋) | | |
| 第2回 | 1) フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川) | | |
| 第3回 | 2) 海軍伝習と日本の近代化(相川) | | |
| 第4回 | 3) ポンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習(相川) | | |
| 第5回 | 1) 長崎ことはじめ、長崎が誇る世界遺産1(高橋) | | |

| | |
|------|-------------------------------------|
| 第6回 | 2) 長崎が誇る世界遺産2, 長崎の歴史を築いた人々(高橋) |
| 第7回 | 1) 長崎とお茶 ~古から現代まで~(太田) |
| 第8回 | 1) 長崎原爆被害の実相(冨塚) |
| 第9回 | 2) 米戦略と長崎県の軍事基地(冨塚) |
| 第10回 | 1) シーボルトが使ったくすり~19世紀長崎での薬の輸入と革新(田中) |
| 第11回 | 3) 壱岐の島~一支國から始まるロマンと苦難の歴史(高橋) |
| 第12回 | 4) 長崎の歴史散策紹介(1)(高橋) |
| 第13回 | 5) 長崎の歴史散策紹介(2)(高橋) |
| 第14回 | 6) 長崎文学の旅, 長崎事件簿(高橋) |
| 第15回 | 7) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ(高橋) |
| 第16回 | |